

白南中だより

教育目標 創造 挑戦
育てる力 主体性
たくましさ
心の回復力
令和6年3月4日(月)
新潟市立白南中学校 発行



卒業生のがんばりを讃えて

校長 和泉 哲章

3年生が卒業の時を迎えました。私にとっては入学から卒業まで見取ることができた学年で感慨もひとしおです。入学した頃は、やや大人しく自分の殻に閉じこもる傾向がありましたが、学年を追うにつれて、活動的になり、目を見張るように成長してくれました。そして、今年度は、「学校の顔」としていつも先頭に立ち、頑張ってくれました。私は、卒業生のよいところは、まず、誠実で信頼に足る存在であることです。物事を正面からしっかり受け止め、自分の責任を誠実に果たしていく姿がたくさん見られました。規範意識が高く、あるべき姿、ありたい姿を下級生に示してくれました。そして、課題に直面したとき、明るく仲間と意見を出し合い、力を合わせて解決していこうという姿勢です。学級でも生徒会でも部活動でも、そういう姿勢がたくさん見られました。そのことが学年集団の力をさらに高めました。そして、学習への真剣な取組です。中学校に入学してから、学年を追うごとに着実の学力を高めてきました。3年生になってからは自分のめざす進路実現に向けて多くの生徒がギアを上げて勉強しました。これも下級生が見習うべき姿です。学習をおろそかにする集団はもてる力を発揮できません。また、この白南地域は、人間性ととともに学力の高さを当然のこととして、学ぶことを大事にして先輩たちもがんばってきました。自分を鍛え、高め、「なりたい自分」に向かってがんばってください。困難に出会うこともあるでしょう。そんなときは、「なにくそ」「負けるもんか」と自らを励まし乗り越えていってください。3年生のみなさんなら大丈夫です。白南中学校で学んだことを誇りにもち、自信をもって進んでください。

昨日、こんな言葉に出会いました。「いつか咲く。思いどおりに咲く。」です。未来の可能性を信じる言葉だと深く胸に刻みました。

先週来、卒業式の練習が行われています。最高の合唱を仕上げようと魂のぶつかり合い、志の継承という言葉が似合うような取組が行われています。卒業生にとっても在校生にとっても、口先だけの薄っぺらな学びとは違う、心を揺り動かす深い学びを得ようとがんばっています。がんばった卒業生にふさわしい感動的な卒業式になることを楽しみにしています。

かけがえのない時間、かけがえのない歌

教頭 斎藤 隆

教員生活の節目にあたって、卒業合唱の授業という、とても幸せな時間をいただきました。「卒業合唱ってなぜ歌うんだろう？」から授業は始めました。さすがは白南の卒業生、「感謝の気持ち」「自らの成長の表現」「新たな挑戦への決意」を伝えたいなど、しっかりとした思いがありました。そして家族や仲間、先生方にその大切な思いを「言葉」を超えて伝えるには「手間ひまかけて丁寧に磨き上げた手作りのもの」で伝えたい、それこそが卒業合唱なんだ、ということを経験できました。そして卒業合唱曲「YELL」を繰り返し聴き、歌詞の意味を自分に重ねて、気持ちを一つに何度も表現を練り上げました。（保護者控室の廊下に授業で生徒が曲への思いを書いた付箋を貼った拡大楽譜を掲示しました。）

授業のおわりに次のような話をしました。「私たちはきっと、どこかの世界と別れてこの世界に生まれてきました。そしてまたいつかこの世界と別れる時が来ます。「YELL」の歌詞にある『永遠など無いと 気づいたときから』とは、すべての出会いや出来事には、必ず別れと終わりがあることが生きる真実、でもだからこそ、生きることすべては「かけがえなく尊く、美しく輝いている」こと。その真実を言葉でなく、心でわかり始めるのが思春期の今の君たちなんです」と。

明日、卒業生はまさに「今、ここ」の命の輝きを精一杯歌います。1、2年生は卒業生の姿に、未来の自分をきっと重ねることでしょう。「かけがえのない合唱」、「かけがえのない卒業という時間」を、ともに経験するたびに、私も日々見失いがちな「生きること」の「本当」を改めて思い出します。卒業式は、生きるすべてが「かけがえのない」ことで満ちていることを、子どもも、そして大人の私たちも「深く学ぶ」ことができる、学校で最も大切な教育活動なのです。



【今後の主な予定】

3/6 (水) 公立高校入試

3/11 (月) 全校朝会

3/13 (水) NRT検査(国・数・英)

3/14 (木) NRT検査(社・理)

3/15 (金) 公立高校合格発表

3/18 (月) 修了式

3/19 (火) 春休み開始

3/25 (月) 離任式

